

平成24年1月13日。

14時頃。

大和郡山市の男性による行為、大蔵寺の一般参拝、観光客の受け入れ拒否から僅か13日。

寺院従事者が山内見回り中。

立入禁止の警告が述べてある看板とロープが張られている箇所にて。

立ち入り禁止示すロープが外されているのを発見。

その先を辿るとリュックを背負った初老の男性が歩いていた。

男性に声をかけ、先ずはご用を訪ねると「ちょっと見に来た」と返答されたので、ルールは守りなさいと注意を促すと「偉そうに言うな」「宗教は全てを許すものだろう」と反論される。

その後、男性は身勝手な解釈と持論で対抗し「注意の仕方が悪い」など、タチの悪い開き直りをして引き下がらない。

彼者は当ホームページを見て、予め予約が必要なことを知っていたと述べたが山内掲示物を無視し、ロープを外し侵入し、揚句には「では、今から予約するから入れさせよ、お金を払えば見せてくれるのだろう」と一切悪びれることなく身勝手な独自の持論を語り続け、こちらの事情を聞いて頂けなかったので極めて厳しく対応して即刻の下山を求めた。

大蔵寺が一般参拝や観光客の受け入れを禁止したのは、このような者が多くなってきたからです。

受け入れを禁止した現在でも、このような者が後を絶ちません。

今までは許されざる者も、寺院の建前で許して参りましたが、それは誤りだと認め改めて、今後は極めて厳しく対処を致します。